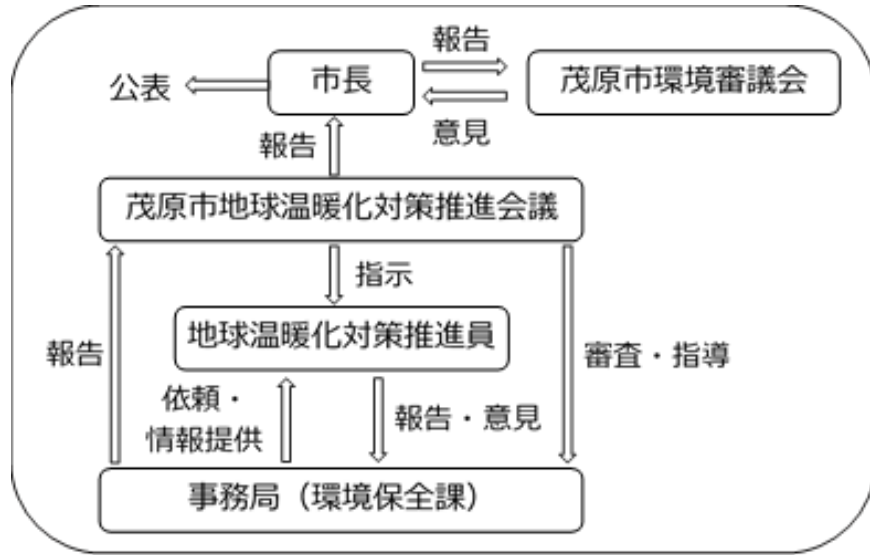


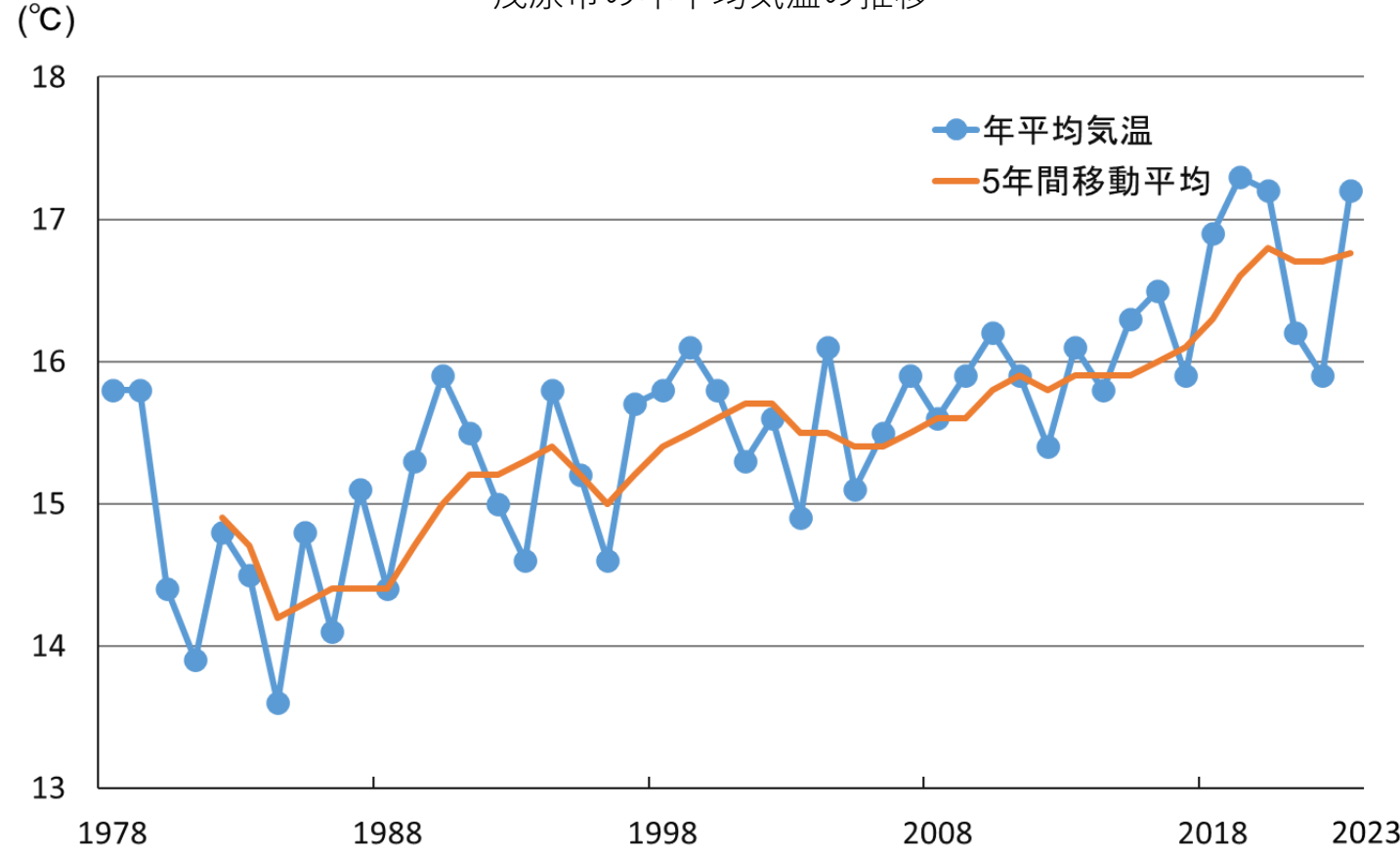
茂原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版

1. 計画の基本的事項・背景

- ・近年世界各地で地球温暖化が進んでおり、「IPCC第6次評価報告書」によると、世界平均気温は、少なくとも過去2000年間にわたって経験したことのない速度で上昇していることが述べられています。
- ・本市でも、観測が開始された1978年から年平均気温は上昇傾向にあります。
- ・本市では、2022年（令和4年）11月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しております。



推進体制

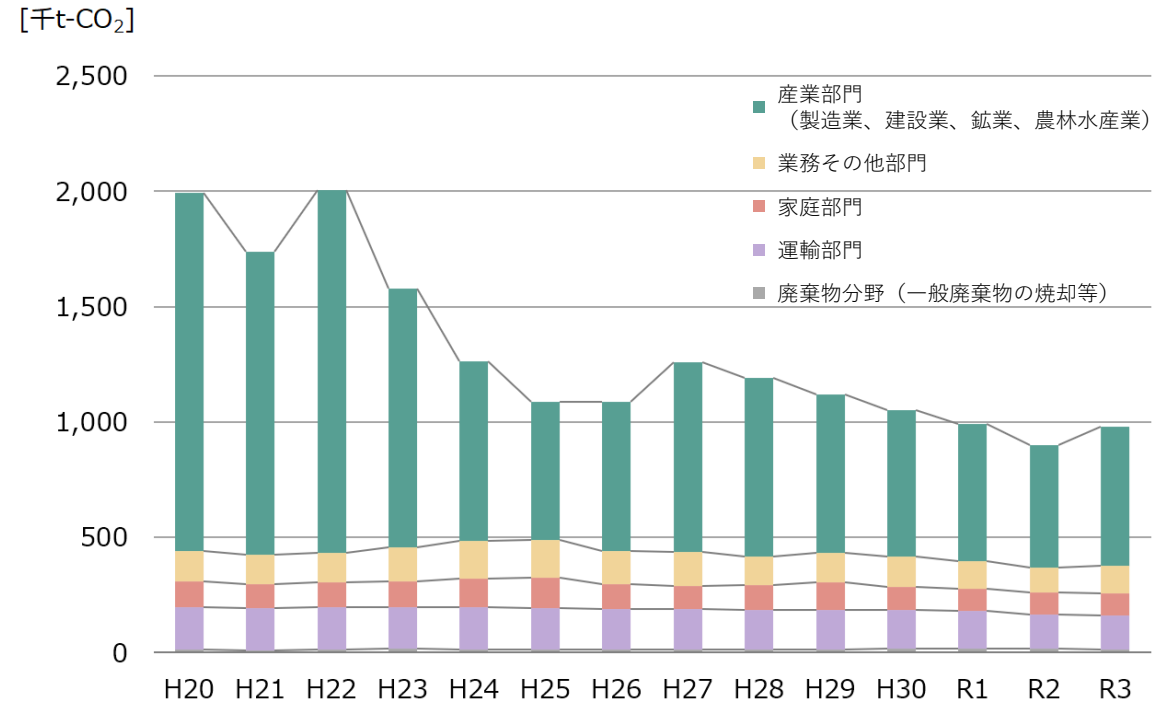


出典：気象庁

2. 茂原市の温室効果ガスの排出状況

2021年度（令和3年度）の温室効果ガス排出量は、980千t-CO₂であり、基準年度（2013年度、平成25年度）と比較して9.9%減少しています。部門別CO₂排出量では、産業部門が62%を占め、業務その他部門12%、家庭部門9%、運輸部門15%となっています。

部門・分野別CO₂排出量の推移



出典：環境省「自治体排出量カルテ」

3.再生可能エネルギー導入実績・ポテンシャル

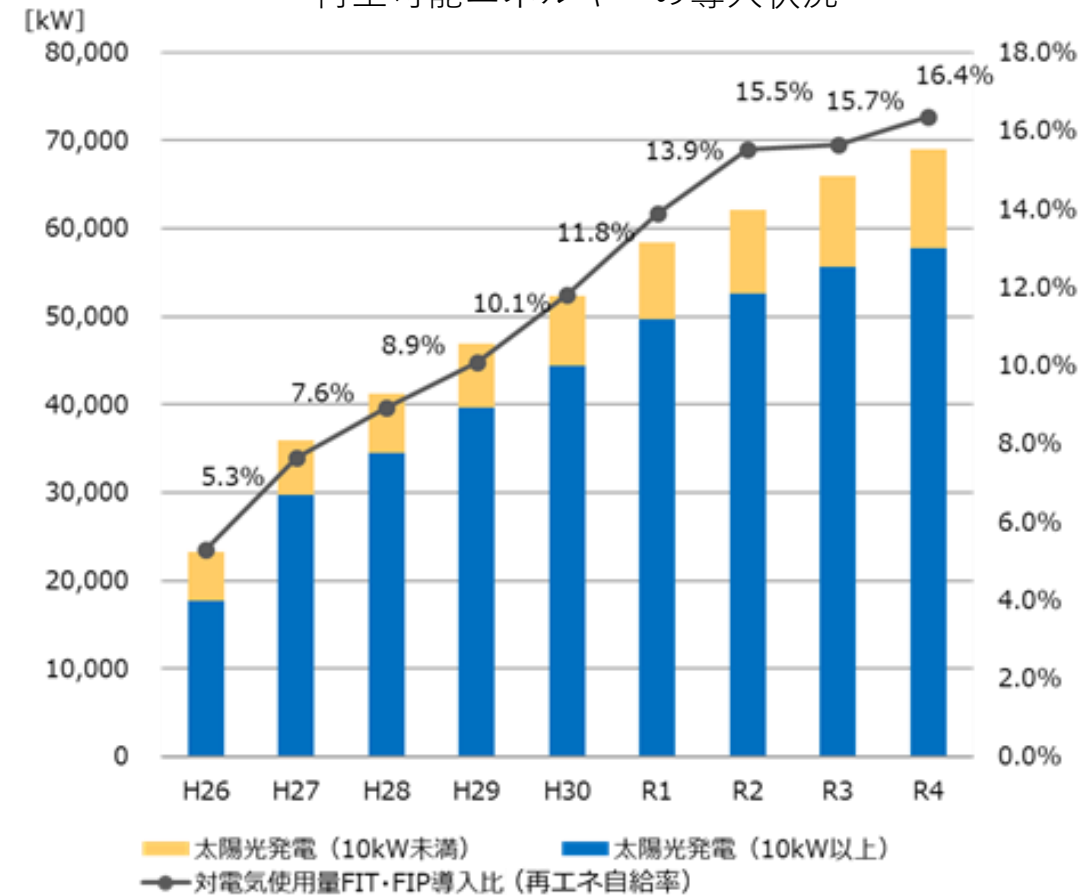
本市の再生可能エネルギーの導入実績は太陽光発電のみであり、令和4年度で、69,008kWとなっています。
また、本市の電気使用量（R4年度：549,323MWh）に対する再生可能エネルギーの既導入比率は16.4%であり、導入ポテンシャル比率は295.5%と推計されています。

再生可能エネルギーの導入ポテンシャル

	設備容量 [MW]	発電電力量 [MWh/年]
太陽光発電	1,233	1,616,127
建物系	414	544,382
土地系	819	1,071,745
風力発電	0	0
中小水力発電	0	0
地熱発電	1	6,948
再生可能エネルギー合計	1,234	1,623,074

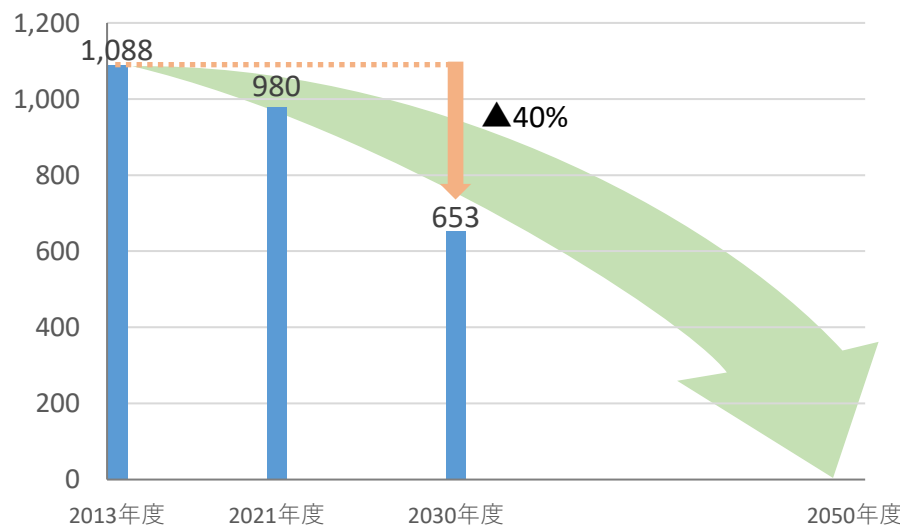
出典：環境省「REPOS（再生可能エネルギー情報システム）」

再生可能エネルギーの導入状況



出典：環境省「自治体排出量カルテ」

4.削減目標



2030年度目標：2013年度比40%削減

5.目標達成に向けた施策

緩和策

- ・省エネルギー対策の推進
- ・再生可能エネルギーの導入促進
- ・環境にやさしい都市システムの構築
- ・循環型社会の形成

適応策

- ・温暖化に対応した栽培管理への支援
- ・野生動植物の環境調査と希少種の保護の検討
- ・災害リスクを考慮したまちづくりの推進
- ・熱中症予防・対処法の普及啓発
- ・緑化推進
- ・ライフスタイルの変革推進

緩和とは？ 原因を少なく
適応とは？ 影響に備える

2つの気候変動対策

緩和策の例
 節電・省エネ、エコカーの普及、再生可能エネルギーの活用、森林を増やす、温室効果ガスを減らす

適応策の例
 熱中症予防、災害に備える、水利用の工夫、感染症予防のため虫刺されに注意、高温でも育つ農作物の品種開発や栽培

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム